

フェアプレイインタビュー  
[サッカー]  
川崎フロンターレ所属  
中村憲剛選手



プロフィール  
生年月日：1980年10月31日  
出身地：東京都  
2016年  
リーグMVP

感謝の気持ちを忘れずに失敗を省みて成長しよう

常に感謝の気持ちを忘れない

感謝、感激、感動。この3つの言葉を大切にしてきたのがJリーグで活躍する中村憲剛選手です。「サッカーは自分一人じゃできない。仲間はもちろん、対戦相手や審判の方々がいて初めて試合ができる。だから試合が終われば、みんなに対して『ありがとう』という気持ちになるんです」  
昨年11月に選手生命が危ぶまれる大ケガをしましたが、今年の夏に見事復帰。長く苦しいリハビリ

期間中、改めて自分を支えてくれる人々への感謝の思いを強くしたそうです。

「とても自分一人じゃ治せない。ドクターやトレーナー、仲間たちの支えがあったからこそ復帰することができたと思っています」

子ども時代の苦い思い出

中村選手は仲間へ巧みにパスを配るチームの頭脳としての役割を担っています。2010年には日本代表として南アフリカワールドカップに出場。2016年にはJ

失敗したときは自分を見つめ直す

中村選手はプロ入り以来川崎フロンターレに在籍していますが、長い間、タイトルに恵まれなかった期間には「一生、優勝とは縁がないんじゃないか」と何度も思ったと言います。しかし2017年と2018年にはJリーグを連覇する喜びを味わい、優勝して初めて気づいたこともありました。「後で後悔しないように、いまだ

リーグMVP（年間最優秀選手）に選ばれた名手ですが、少年時代は何度も失敗を経験しています。「大の負けず嫌い。勝ちたいという思いから仲間へ厳しい要求をしていました。あとになって当時のチームメイトから『怖かった』と言われました。その時配慮が足りなかったと気づき、省みて後悔しました。僕の言動は全然チームの為にないなかつたのですから」その失敗談を息子に話し、こう言い聞かせたそうです。「決して仲間をなじったりせず、自分に責任があると思いなさい。人のせいにする前に自分自身はどうすればよかったのか。それをしっかり考えよう」と



「長い人生で勝ち続けられる人はいない。みんなどこかで負ける。大切なのは失敗から学び、それをどう役立てるか。だから、一度や二度の失敗で落ち込まなくてもいい。そういう時は失敗を省みて自分の胸に手を当て、いまの自分を見つめ直してみる。ぜひ、皆さんもやってみてください」



フェアプレイストーリー  
トランポリンの魅力をもくもくの人へ！

4歳から競技を始めた森選手の原点はスーパーの屋上で出会った遊具のトランポリンだった

練習環境は限られ苦勞もあつたがトランポリンが大好きだという気持ちで努力を続け国際大会でメダルを獲得

しかしトランポリン競技の注目度がまだまだ低いことを実感し悔しい思いをした

こんなに面白くて楽しい競技なのに...

もり森ひかる選手

もっとトランポリンの素晴らしさをわかってもらいたい...

トランポリンの魅力をもくもくの人々に広めたい！

その決意に向けて結果を出すため練習に励んだ

ミスをもメモし演技を改善したり積極的にメディアに出て認知度を高める工夫もしたりした

そして森選手は東京五輪出場をかけた世界選手権に出場会場は満席に...

大歓声がかとなり男女を通じて個人で日本初の金メダルを獲得

初めて見に来る人も多いはず...よし！

固い決意を持って努力を続ける森選手はさらに活躍するとともにより多くの人々に競技の魅力を伝えていくことだろう

森ひかる トランポリン

